

## 資料 1 2

### 町田市立学校の新たな通学区域案における学校候補地 比較検討表（堺地区）

- 1 町田市立学校の新たな通学区域案における学校候補地 比較検討表について（堺地区）
- 2 町田市立学校の新たな通学区域案における学校候補地 比較検討表（堺地区）

## 町田市立学校の新たな通学区域案における学校候補地 比較検討表（堺地区）について

本資料は、各通学区域統合検討対象校において、「児童・生徒の通学のしやすさ」の評価項目における優先順位を比較検討し、第6回審議会で審議した「ゆとりある学校施設環境の整備」及び「学校施設の老朽化の状況」の評価項目における優先順位とあわせて、学校候補地を選定するための資料です。

資料の見方は以下のとおりです。

### 資料の見方

- ①候補地の順番は、通学区域統合検討対象校ごとに「㉑建物敷地面積」の大きい順番になっています。
- ②各項目の見方・内容について

項目	小項目	内容
地区	①	-
通番	②	-
学校名（候補地名）	③	-
学校候補地	④	-
統合後学級数 ※新たな通学区域（アンケート調査案）変更後	⑤	2020
	⑥	2030
	⑦	2040
	⑧	統合可能年度
	⑨	統合可能年度児童数
順位合計	⑩	-
児童・生徒の通学のしやすさ 評価項目	優先順位	⑪
	順位合計	⑫
	順位	⑬
	学校候補地から直線距離で2km（徒歩で約30分）超の場所に居住する児童	⑭
	2kmを超える児童への配慮	⑮
	順位	⑯
	学校候補地から直線距離で1km（徒歩で約15分）以内の場所に居住する児童	⑰
	1km～2kmの児童への配慮	⑱
	優先順位	⑲
	建物敷地面積+運動場面積	⑲
ゆとりある学校施設環境の整備 評価項目	建築制限	⑲
	施設の配置の工夫のしやすさ	⑲
		⑲
		⑲
	老朽化評価項目	2000年以降建築
（参考）避難施設の指定	⑲	地震
	⑲	風水害

町田市立学校の新たな通学区域案における学校候補地 比較検討表（小学校：堺地区）

地区	通番	学校名 (候補地名)	学校 候補地	統合後学級数					児童・生徒の通学のしやすさ 評価項目									ゆとりある学校施設環境の整備 評価項目							老朽化 評価 項目	(参考) 避難施設 の指定			
				2020	2030	2040	統合 可能 年度	統合可能 年度児童 生徒数	優先 順位	順位 合計	通学距離・通学時間			順位	順位	優先 順位	建物敷地面積 +運動場面積	建築制限		施設の配置の工夫の しやすさ				2000 年以降 建築				地震	風水害
				面積 (㎡)	主たる 用途地域	容積率					土地 の 形状	土地 の 高 低差	周囲 への 日影 の影響					都市 計画 道路											
堺	(1)	大戸 相原		18	16	14	2020	564 (18学級)	2位 1位	4 2	2位 1位	61.7% 21.4%	418人 145人	配慮困難 配慮可能	2位 1位	26.3% 39.7%	178人 269人	— 配慮可能	1位 2位	19,374 13,246	市街化調整区域 第一種低層住居	80% (告示) 80%	整形 整形	無 無	小 大			○ ○	○ ○

町田市立学校の新たな通学区域案における学校候補地 比較検討表（中学校：堺地区）

地区	通番	学校名 (候補地名)	学校 候補地	統合後学級数					児童・生徒の通学のしやすさ 評価項目									ゆとりある学校施設環境の整備 評価項目							老朽化 評価 項目	(参考) 避難施設 の指定			
				2020	2030	2040	統合 可能 年度	統合可能 年度児童 生徒数	優先 順位	順位 合計	通学距離・通学時間			順位	順位	優先 順位	建物敷地面積 +運動場面積	建築制限		施設の配置の工夫の しやすさ				2000 年以降 建築				地震	風水害
				面積 (㎡)	主たる 用途地域	容積率					土地 の 形状	土地 の 高 低差	周囲 への 日影 の影響					都市 計画 道路											
堺	(2)	武蔵岡 堺		18	16	12	2020	622 (18学級)	2位 1位	4 2	2位 1位	77.2% 23.5%	477人 145人	配慮困難 配慮可能	2位 1位	16.3% 31.4%	101人 194人	— 配慮可能	1位 2位	22,333 14,659	市街化調整区域 第二種中高層住居	80% (告示) 200%	整形 無	無 無	小 大			○ ○	○ ○